

第1回学校運営協議会



本年度、矢島高校は保護者や地域住民が学校運営に参加する「コミュニティ・スクール」制度を導入しました。県内では小中学校での制度導入は進んでいますが、高校での導入は県内で初めての試みです。コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会制度」を導入した学校のことです。学校が地域住民と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって生徒を育む制度です。「地域とともに歩む学校」を掲げ、地域ボランティアなどを積極的に行っている本校の学校運営にこれまで以上に地域の声を反映させることができるようになります。

6月18日には学校職員、県生涯学習課、同窓会、PTA、地域代表の方々が参加し、第1回の学校運営協議会が開催されました。協議会では地元天寿酒造の代表取締役社長、大井建史氏が委員長に選出され、矢島高校が行っている地域貢献活動を中心に、今後のコミュニティ・スクールとしての活動について協議を行いました。

全体会の後は3つのワーキンググループに分かれ、矢島高校が行っている「地域学」や「鳥海総合」などにおける地域ボランティア、伝統文化の継承、地元活性化のための貢献活動などについて、現状の確認、今後の展開について話し合いがなされました。矢島高校の様々な活動を生かして、どのように魅力ある学校、地域を創っていきけるかが課題となります。今後さらに協議を重ね、矢島高校がより魅力と活気ある学校となるよう取り組んでいきたいと思っております。